

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成30年度第1回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成30年6月28日（木） 18時～18時45分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者： 倉持委員、小関委員、安部委員、奥下委員、五十嵐委員、田中委員、大橋委員 （事務局） 高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、高齢福祉係長、介護認定係長、介護給付係長、管理係長、管理係主任 欠席者： 河西委員、吉野委員、加園委員、高橋委員 傍聴者： 0名
議 題	協議事項1 地域密着型サービス事業所の指定について 協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について 協議事項3 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	協議事項1 地域密着型通所介護サービス事業所の新規指定について承認することとなった。 協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について承認することとなった。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	開 会 《協議事項1 地域密着型サービス事業所の指定について》 事務局：（協議事項1について説明） 会 長：質疑等あるか。 委 員：質疑なし 会 長：では、地域密着型通所介護サービス事業所の新規指定について、承認するということが良いか。 委 員：異議なし 《協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について》 事務局：（協議事項2について説明） 委 員：今年度改めて公募を行うとのことだが、応募がなかった理由は何が考えられるのか。 事務局：市内事業所のいくつかに聞いてみたところ、採算性の部分で二の足を踏むとのこと。ニーズが見えないとの意見があった。 委 員：「PRを工夫」というよりは、事業が継続できるよう支援をしたほうが良いのでは。このサービスは人件費がかかるのでそのための補助や、補助金を出しても最初の1年だけでなく、2～3年継続で補助を続ける等をしないと応募は難しいかもしれな

